

事業番号	15 08 04	事業改善シート(28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	夜間定時制高等学校夜食費			担当課	部局	教育委員会事務局	
					課・局・室	保健厚生課	
総合5か年計画	プロジェクト			E-mail	<a href="mailto:hokenko@pref.nagano.lg.jp">hokenko@pref.nagano.lg.jp</a>		
	施策の総合的展開			実施期間	～		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針						
	施策展開						

## 1 事業の概要

目指す姿	高等学校の夜間課程において学ぶ青年の心身の健全な発達に資するとともに、勤労青年の修学を促進し教育の機会均等を保障する。					
現状(予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「体調が悪い」という生徒の割合・・・29.4%(H26保健厚生課調査)</li> <li>○1日の食事回数が給食を含めて1～2回・・・約40%(H26保健厚生課調査)</li> </ul>					
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】				
	県民との協働による実施：実施は困難	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間課程を置く高等学校における学校給食に関する法律</li> <li>・県立高等学校生徒に対する補助については県で行うことが適当</li> </ul>				
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「体調が悪い」という生徒の割合 29%</li> <li>・当初目標(H23) H23:47.1% → H26:32.1%(毎年5%づつ、3年間で15%の改善を目標)</li> <li>・当初目標を達成し3割まで改善しているが、近年の社会情勢における様々なマイナス要因を考慮し、現状維持を目標に設定</li> </ul>					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H28事業実績		H29
				(当初)	(決算)	(当初)
	夜間定時制高等学校における夜間学校給食(夜食)の実施	委託	調理委託校(2校)に対する人件費を負担(各高等学校から民間業者へ調理業務を委託)	12,488	4,190	6,408
		直接	弁当校(11校)、補食校(3校)の食材加工賃を負担	8,673	9,700	13,913
	夜食に係る食材料費の補助	直接	夜食に係る食材料費を補助(1食あたり71円)	11,118	7,234	10,362
			合計	32,279	21,124	30,683

事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28		H29目標	
	当初予算	33,898	32,279	30,683				目標	成果		達成状況
	補正予算	-6,997	-9,029		「体調が悪い」という生徒割合の改善	29.4%	36.1%	29%	34.1%	未達成	29%
	合計(A)	26,901	23,250	30,683							
	一般財源	26,901	23,250	30,683							
	県債										
	国庫支出金										
	その他	0	0	0							
	決算額(B)	23,999	21,124								
概算人件費	職員数(人)	0.25	0.25	0.25							
概算事業費(B(A)+C)	概算人件費(C)	2,069	1,979	1,979							
		26,068	23,103	32,662							

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近の夜間課程に学ぶ生徒や生徒を取り巻く社会状況の変化などから目標を達成することはできなかった。</li> <li>・アンケートの結果から、「体調が悪い」と答えている割合は6.5%と、前年の5.1%から1.4ポイント増加、目標としている「どちらかという悪い」と答えている生徒の割合を含めた割合は、34.1%と前年度末より2%改善したものの依然30%を超えている。</li> <li>・国の栄養基準等に基づいた給食を提供し、生徒の食生活の充実が図られるようにするとともに、給食費の負担軽減により、引き続き修学の促進、教育の機会均等を図っていく必要がある。</li> </ul>
-------------	---

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	夜間定時制高校への修学促進と、勤労青年の心身の健全な発達が食生活を通じて図られるよう、引き続き事業を実施していく。